

政治行政学科創立三十周年記念号の刊行にあたって

秋 田 辰 巳

この度『山梨学院大学法学論集』87号を、法学部政治行政学科創立30周年記念号として刊行するにあたり、学長古屋光司先生、法学部長金子大先生はじめ歴代の学部長、学科長、そして学部内外の関係各位からご協力を賜りましたこと、謹んでお礼申し上げます。

本学科は、1991年4月に行政学科として設立されました。その後、2002年4月には政治行政学科に名称変更しました。そして、2021年4月に創立三十周年を迎えます。

一方で、2019年度には学生募集停止。そして、2022年度をもって幕を閉じることが決定しました。以降は、法学科に政治行政学科の魂をブレンドし、新しい法学部としてさらに発展していくものと確信しております。

さて、2020年度は、世界中が大混乱の年でした。2019年11月に始まった新型コロナウイルス感染の影響は一気に拡大し、世界中を飲み込みました。そのため国内外の他の教育機関同様、本学でも全学的なオンライン授業を実施することになりました。

この困難の中、私たちは政治行政の視点からどのような教育ができるのか模索して参りました。勝海舟が「政治家の秘訣は、ほかに何も無い。ただただ誠（正）心誠意の四文字ばかりだ。」と申しました。また、吉田松陰は「至誠にして動かざる者は、未だこれ有らざるなり。」と申しました。

これまでの政治行政学科卒業生、そして現役の学生たちが其々の立場で誠をつくすことにより、世界を巻き込んだこの史上稀に見る困難を乗り越

えるため、政治や行政の分野で活躍してくれることを願ってやみません。

そして、今後新生法学部として、全学的には学長古屋光司先生のご指導のもと、「教育の質的転換」と「全学的国際化」という2つのビジョン達成に向けて、着実に歩みを進めることとなります。

結びに、本記念号の刊行にあたり、法学部の多くの先生方から論文等の積極的な寄稿をいただき、大変充実した内容となりましたこと。さらに、日ごろ関係各位には政治行政学科の発展にお力添えをいただいて参りましたこと。合わせて厚くお礼申し上げます。

末筆ながら、政治行政学科設立に多大なるご尽力をいただいた故河中二講先生に本記念号に込められた思いが届くことを願い、刊行にあたっての感謝を込めたご挨拶といたします。